

観光英語 (10) : 神奈川県と静岡県の観光名所、箱根、静岡、浜松、伊豆などに見られる案内板の英語

福島 一人

Tourism English (10) : The English Found on Signs in Popular Tourist Sites, Hakone, Shizuoka, Hamamatsu, Izu, etc. Located in Kanagawa and Shizuoka Prefectures

Kazundo Fukushima

Abstract

Because the Tokyo Olympic & Paralympic Games are to be held in 2020, more and more foreign tourists are expected to visit Japan. The English signs in Japan's popular tourist sites have to be increased in number and improved in quality so that the tourists will be able to enjoy fruitful and profitable trips to them.

Following Fukushima (2016.1), this paper, as a case study, examines the English signs found particularly in the popular tourist sites, in the Hakone area in Kanagawa Prefecture, and the Shizuoka, Hamamatsu, and Izu areas, etc. in Shizuoka Prefecture.

The signs discussed here are mainly those which indicate the generally summarized information about the places or things concerned.

Additionally, the signs of general public notices will be examined when necessary.

As to the signs already existent, their words, phrases, grammar and style etc. will be examined. If there are no English descriptions exhibited, English descriptions will be suggested.

The methods of writing the explanatory notes and Japanese names of the places, persons, or things will in principle follow Fukushima (2015.7), (2015.9), and partly improve on them.

1. はじめに

2020 東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、さらなる外国人観光客の増加が見込まれ、日本の名所・旧跡においては、特に国際語である英語案内板の質的・量的¹⁾充実が望まれるようになってきている。このことは、日本人観光客の増加にもつながる。

本稿は、事例報告として、福島 (2016.1) に引き続き、神奈川県の観光名所である箱根、そして、静岡県の観光名所、特に、三保の松原、浅間大社、韮山反射炉、修善寺自然公園もみじ林、登呂遺跡、浜松城址などに見られる英語案内板に検討を加える。他県の類似の観光名所のものを比較対照のために挙げることもある。

検討を加える案内板は、主として、当該観光名所の「全体にわたって概略を説明」(以後、「包括的説明」とする)を行うものとする。概ね、以下を念頭に置きながら検討を加える。

これらの案内板の記述は、リーフレットなどのものと異なり、「観光客を積極的に呼び込む」効果を第一に考慮すべき、と思われる。観光名所の特筆に値することを第一に考慮し、簡潔・明瞭に記述すべきと思われる。

これを阻害する要因には、英文構造面では、日本語に一致させることを考えることに起因する「長文化」がある。また、内容面では、過度の情報サービスに起因する一般観光客には向かないほどの「専門化」などがある。これらの例を挙げ修正を行う。設置するべきと思われるものが存在する場合、提案を行う。

必要に応じて、包括的説明以外の案内板の例を挙げることもある。

綴字面などを含めた日本語の英文字表記法について、2014年3月に、国土交通省 観光庁により、「観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン」、という指針（以後、「観光庁指針」）が出されている。本稿は、「観光庁指針」と共通する部分はある。しかし、ヘボン式と異なり「おう」、「おお」の区別を明示した表記、また、普通名詞に[]や（ ）を後続させ説明するなど、日本語を学習する外国人の便宜を考慮した、福島（2015.7）、（2015.9）の提案に従う。但し、「都道府県市町村名や人名・駅名などの他は、イタリック体表記」とし、これまでと異なり、イタリック体表記の幅を広げる。

本稿においては、現地の案内板の問題と思われる点にはアンダーラインを引き、追加修正などの提案は太字で記す。

2. 現地の案内板

2. 1 神奈川県箱根

世界的に有名な観光地であり、町全体が富士箱根伊豆国立公園の中に存在する。外国人観光客の数が当然多い。芦ノ湖畔の元箱根まで小田原、湯河原、熱海からバスの便があり、平日ならば、90分以内で到達可能である。

2. 1. 1 芦ノ湖

1は、大観山富士見時に見られる案内板の画像をトリミングしたものである。画像中の芦ノ湖は、さらに箱根の中心と言われている。北岸の湖尻と南岸の箱根町がわとの間を、伊豆箱根鉄道と箱根登山鉄道の遊覧船が就航する。富士山の眺望、特に湖面に映し出される「さかさ富士」が有名である。

2は、3の「箱根関所周辺散策図」の中に見られる「芦ノ湖」の概略説明である。

箱根町の作成と思われる3の案内板は、箱根駅伝ゴール地点に設置され、芦ノ湖畔の元箱根



3



芦ノ湖

Lake Ashi

標高約 720 m に位置する神奈川県最大の湖で、周囲約 19km、面積は約 7km²にも及びます。周囲を取り巻く外輪山の山並みとその彼方に聳える富士山の姿は、箱根の中で最も魅力的な風景で、条件がそろえば湖面には美しい「さかさ富士」が映し出されます。北岸の湖尻と南岸の箱根間には遊覧船も就航し、湖上遊覧を楽しむことができます。湖に棲むという九つの頭をもつ九頭龍伝説も語り継がれ、7月31日に箱根神社湖水祭では、湖上から赤飯が捧げられます。

Situated some 720 m above sea level, Lake Ashi is the largest lake in Kanagawa prefecture, with an area of seven square kilometers and a circumference of 19 km. Lake Ashi is also one of Hakone's key tourist attractions, framed by the nearby mountain range that includes the famous Mt. Fuji. On a clear day you can see the inverted image of Mt. Fuji reflected in the waters of the lake, one of the defining scenic images of Hakone. Leisure cruises ply the route between Kojiri on the north shore and the township of Hakone to the south. Legend has it that Lake Ashi is home to a nine-headed dragon, which is presented with an offering of traditional red rice at the Hakone Shrine Lake Ashi Festival on July 31 every year.

日本語、英語説明共に、完全に内容が一致する。中国語、韓国語の表記もあり案内板の記述スペースが狭い。そのためか、段落分けをしていない。スペースが許されれば、三つの段落に分けられるであろう。

日本語、英語ともに、概ね、「地理上の説明」→「見どころ」→「祭事」の順に記述している。一般観光客が同じ程度に興味をもつことなので、この記述順について賛成できる。

以下、段落に分け、検討を加える。

Lake Ashi

表題の「芦ノ湖」を“Lake Ashi”としており、これは、「湖」の伝統的な英文字表記である。しかし、「観光庁指針」p.13は、“Lake Ashinoko”としている。本稿執筆者は、“*Ashino-ko* [-lake]”とすることを提案する。外国人の日本語学習者に“ko”が「湖」を意味することを明示する²⁾。

Situated some 720 m above sea level, Lake Ashi is the largest lake in Kanagawa prefecture, with an area of seven square kilometers and a circumference of 19 km.

「地理上の説明」を1文で表している。分詞構文で始めているが、分詞構文は付帯状況、あるいは、付加説明の意味を第一義とし、後置するのが普通である。「単純・明瞭」な案内板の英語の書き出しには馴染まないと思われる。従って、表題を文頭にする。また、面積・周囲を意味する“with...”

福島 一人：観光英語(10)：神奈川県と静岡県の観光名所、箱根、静岡、浜松、伊豆などに見られる案内板の英語

は文として独立させる。以下のようにすることを提案する。

Ashino-ko, situated some 720m above sea level, is the largest lake in Kanagawa prefecture. It has an area of seven square kilometers and a circumference of 19 kilometers.

Lake Ashi is also one of Hakone's key tourist attractions, framed by the nearby mountain range that includes the famous Mt. Fuji. On a clear day you can see the inverted image of Mt. Fuji reflected in the waters of the lake, one of the defining scenic images of Hakone. Leisure cruises ply the route between Kojiri on the north shore and the township of Hakone to the south.

「芦ノ湖の見どころ、魅力」を表す箇所であるので、段落を分けることを提案する。

トップヘビーを避けようという心理がはたらいたのであろうか、“framed...”を後置している。しかし、付帯状況を表す単純分詞構造や with 分詞構造を直後に置いても、トップヘビーという印象を感じられないようである。原文では、富士山が箱根外輪山の一つと誤解される。そして、主語を「芦ノ湖の眺め」と具体的に表す。“**The sight of *Ashino-ko*, surrounded by a range of nearby mountains, with the famous *Fuji-san* [-mountain] rising in the distance as a background, is also one of Hakone's key attractions.**” とすることを提案する。“in” は “on” と、「(箱根の) 主役的な」という内容であるので “defining” は “featured” とするべきである。“on the north shore” とバランスをとり、“**on the south shore**” とする。以下のようにすることを提案する。

The sight of *Ashino-ko*, surrounded by a range of nearby mountains, with the famous *Fuji-san* [-mountain] rising in the distance as a background, is also one of Hakone's key attractions. On a clear day you can see the inverted image of *Fuji-san* reflected on the waters of the lake, one of the featured scenic images of Hakone. Leisure cruises ply the route between Kojiri on the north shore and the township of Hakone on the south shore.

Legend has it that Lake Ashi is home to a nine-headed dragon, which is presented with an offering of traditional red rice at the Hakone Shrine Lake Ashi Festival on July 31 every year.

記述スペースの関係であろうか、「竜の伝説」と、「現在も行われている湖水祭り」について、非制限関係詞節を用いて、1文で記されている。「長すぎる」という印象が感じられる。“Legend has it that” を平易にすることなども含め、2文に分け、“**According to the legend, *Ashino-ko* was the home of a nine-headed dragon. Even now, on July 31 every year, “*Hakone-jinja* [-shrine] *Kosui Matsuri* (lake festival)” is held in awe of the dragon by presenting it with an offering of traditional red rice.**” とすることを提案する。

修正提案などを含めたものをまとめると、次の通りである。各段落の始めは、3文字分スペースを空ける。前述した通り、画像入りで独立した案内板を設置することを提案する。

Ashino-ko [-lake]

Ashino-ko, situated some 720m above sea level, is the largest lake in Kanagawa prefecture. It has an area of seven square kilometers and a circumference of 19 kilometers.

The sight of *Ashino-ko*, surrounded by a range of nearby mountains, with the famous *Fuji-san* [-mountain] rising in the distance as a background, is also one of Hakone's key attractions. On a clear day you can see the inverted image of *Fuji-san* reflected on the waters of the lake, one of the featured scenic images of Hakone. Leisure cruises ply the route between Kojiri on the north shore and

the township of Hakone on the south shore.

According to the legend, *Ashino-ko* was the home of a nine-headed dragon. Even now, on July 31 every year, “*Hakone-jinja* [shrine] *Kosui Matsuri* (lake festival)” is held in awe of the dragon by presenting it with an offering of traditional red rice.

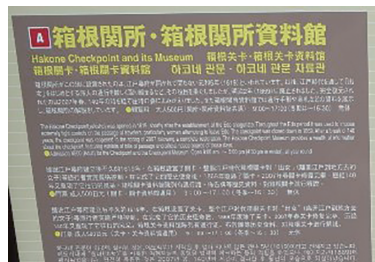
2. 1. 2 箱根関所・箱根関所資料館

4のように箱根関所は、芦ノ湖畔に存在し、2007年と比べすっかり観光地として整備されている。特に、復元建造物内の人形が以前のマネキン人形と異なり、人間味が感じられる。

4



5



画像5は、2と同様、3の「箱根関所周辺散策図」の中に見られる「箱根関所・箱根関所資料館」の概略説明である。関所・関所資料館入り口にも「箱根関所」という表題で概略説明の

案内板は見られるが、英語説明は極めて少ない。5の案内板を4の画像入りで設置することを提案する。

やはり英語・中国語・韓国語で記されている。2と同様英語の文の記述スペースが限られているにも拘わらず、日本語英語共に、入場料金も含め、名所の要点を上手に整理していると思える。

日本語及び英語説明は以下の通りである。

A 箱根関所・箱根関所資料館 Hakone Checkpoint and its Museum

箱根関所がこの地に設置されたのは、江戸幕府が開かれて間もない元和5年（1619）といわれています。以後、江戸時代を通して「出女」をはじめとする旅人の通行を厳しく取り締まるなど、その役目を果たしましたが、明治2年（1869）に廃止されました。完全復元されたのは2007年春。140年の時を経て往時の姿によみがえりました。また箱根関所資料館では通行手形や高札などの資料を展示し、箱根関所の解説をしています。

●観覧料 大人500円（関所・関所資料館共通）9:00～17:00（冬期は～16:30）無休

The Hakone Checkpoint (sekisho) was opened in 1619, shortly after the establishment of the Edo shogunate. Throughout the Edo period it was used to impose extremely tight controls on the passage of travelers, particularly women attempting to leave Edo. The checkpoint was closed down in 1869. After a break of 140 years, the checkpoint was reopened in the spring of 2007 following a complete restoration. The Hakone Checkpoint Museum provides a wealth of information about the checkpoint, featuring exhibits of bills of passage and official notice boards of those days.

● Admission ¥500 (adult) for the Checkpoint and the Checkpoint Museum Open 9:00 am–5:00 pm (4:30 pm in winter), all year

日本語、英語説明共に、ほぼ内容が一致する。2と同じく段落分けをしていない。スペースが許されれば、関所について2段落、資料館について1段落の三つの段落に分けられるであろう。

日本語、英語ともに、「関所の開設と目的」→「明治時代と現在の復元」→「資料館」の順に記述している。この記述順について賛成できる。

以下、段落に分け、検討を加える。

Hakone Checkpoint and its Museum

表題は、日本語を学習する外国人に、“*sekisho*”「関所」が“*checkpoint*”を、“*hakubutsukan*”「資料館(博物館)」が“*museum*”を意味することを明示し、建造物であるので、福島(2015.7)、(2015.9)の提案に従いイタリック体とし、“*Hakone-sekisho [-checkpoint]*”、“*Hakone-sekisho Shiryoukan [museum]*”とする。

The Hakone Checkpoint (*sekisho*) was opened in 1619, shortly after the establishment of the *Edo shogunate*. Throughout the *Edo period* it was used to impose extremely tight controls on the passage of travelers, particularly women attempting to leave Edo.

“**The *Hakone-sekisho***”とする。江戸時代の関所の開設と目的を表す段落として独立させる。「江戸幕府」、「江戸時代」をイタリック体で表記し、“*Edo-bakufu [-shogunate]*”、“*Edo-jidai [-period]*”とする。

The checkpoint was closed down in 1869. After a break of 140 years, the checkpoint was reopened in the spring of 2007 following a complete restoration.

明治政府により関所が閉鎖され、2007年に復元されたことを表す段落として独立させる。「明治政府により閉鎖されたこと」を明示する。原文では「再び関所の機能を始めることになった」と誤解され得る。観光名所として完全復元された」ことを明示するべきである。

以下を提案する。

The *Hakone-sekisho* was closed down by the *Meiji* government in 1869. After a lapse of 140 years, it was completely reconstructed in the spring of 2007 as a tourist attraction.

最後の箱根資料博物館の記述について英語には問題は見当たらない。段落分けする。●中の開館時間について、“9:00 am ~”は“9:00 am -”と、通常のダッシュを使用する。

以下を提案する。

The *Hakone-sekisho Shiryoukan* provides a wealth of information about the checkpoint, featuring exhibits of bills of passage and official notice boards of those days.

●Admission ¥500 (adult) for the *Hakone-sekisho* and the *Hakone-sekisho Shiryoukan* Open 9:00 am – 5:00 pm (4:30 pm in winter), all year round

修正提案などを含めたものをまとめると、次の通りである。各段落の始めは、3文字分スペースを空ける。

Hakone-sekisho [-checkpoint] *Hakone-sekisho Shiryoukan [museum]*

The *Hakone-sekisho* was opened in 1619, shortly after the establishment of the *Edo bakufu [-shogunate]*. Throughout the *Edo jidai [-period]* it was used to impose extremely tight controls on the passage of travelers, particularly women attempting to leave Edo.

The *Hakone-sekisho* was closed down by the *Meiji* government in 1869. After a lapse of 140 years, it was completely reconstructed in the spring of 2007 as a tourist attraction.

The *Hakone-sekisho Shiryoukan* provides a wealth of information about the checkpoint, featuring exhibits of bills of passage and official notice boards of those days.

●Admission ¥500 (adult) for the *Hakone-sekisho* and the *Hakone-sekisho Shiryoukan* Open 9:00 am—5:00 pm (4:30 pm in winter), all year round.

2. 1. 3 大涌谷

箱根火山神山の中腹にある火山爆発の火口跡の谷である。2016年4月現在立ち入りが規制されている。発見された「大涌谷」関係の案内板は、バンクス氏により2014年7月に撮影された画像6の「大涌谷自然研究路」のみである。「大涌谷」全体の包括的説明の案内板は発見されていない。小さな案内板で、日本語と英語説明しか見られない。「案内板についての案内板」、ということが珍しい。

日本語及び英語説明は以下の通りである。

大涌谷自然研究路

(Owakudani nature trail)

大涌谷は、箱根火山のうち現在も活発な噴気活動を続けている地帯です。この大涌谷自然研究路では、各所に解説板があり、箱根火山の生い立ちや現在の活動の状況を知ることができます。

Owakudani is a site of fumarolic activity and is located in the center of Hakone volcano. Along this nature trail, information boards provide insights into the history and current activity of Hakone volcano.

双方共に短く、日本語、英語説明共に、完全に内容が一致する。段落区分はしていない。

日本語、英語ともに、「地質学的説明」→「見どころ」と、記述している。一般観光客が同じ程度に興味をもつことであり、どちらを先にしてもよいと思える。

以下、検討を加える。

(Owakudani nature trail)

表題は、“dani”「谷」が“valley”を、“shizen kenkyuuro”「自然研究路」が“nature trail”を意味することを明示し、“*Oowaku-dani [-valley] Shizen Kenkyuu-ro (nature trail)*”とすることを提案する。全体が地名・人名ではないので、イタリック体を使用する。

Owakudani is a site of fumarolic activity and is located in the center of Hakone volcano. Along this nature trail, information boards provide insights into the history and current activity of Hakone volcano.

通常、地理的位置を先に示す。“**The Oowaku-dani, located in the center of the Hakone volcanoes, is a site of fumarolic activity.**”とする。日本語は、「箱根火山の歴史や現在の情報」という内容と思えるので、“**...sufficient information about the history and the present activity of the Hakone volcanoes.**”とすることを提案する。

修正提案などを含めたものをまとめると、次の通りである。

Oowaku-dani [-valley] Shizen Kenkyuu-ro (nature trail)

6



The Oowaku-dani, located in the center of the Hakone volcanoes, is a site of fumarolic activity. Along this nature trail, information boards provide sufficient information about the history and the present activity of the Hakone volcanoes.

2. 1. 4 大観山富士見峠

7



8



「大観山」という表題の案内板7が存在するが、地質変動の歴史が中心で、一般観光客には向かないと思われる。

「大観山富士見峠」一般観光客向けの日本語、英語説明を記述した案内板を、7の上部の画像、8を加えて設置することを提案する。

日本語、英語ともに、概ね、「地理上の説明」→「交通手段」→「見どころ」の順に記述することを提案する。執筆者は原則的には、「見どころ」を最初に記述すべき、と考える。

しかし、大観山富士見峠が箱根全体を見渡せる観光スポットであるが、そこを訪れる観光客は、ツアー観光客や湯河原からのバスの乗客である。リピーターを増やすために、地理上の位置、交通の便の記述の方を優先させるべきと考える。

日本語学習者のために、“*touge*”「峠(とうげ)」が“*pass*”を意味すること、“*zan*”、“*yama*”, “*san*”が“*mountain*”を意味することを明示する。

大観山富士見峠

大観山は、箱根外輪山の一つで、芦ノ湖の南東約2.5kmに位置し、海拔1,015mにあります。JR湯河原からバスで60分足らず、小田原方面から有料道路「箱根ターンパイク」を利用し車で30分足らずです。富士見峠からは、富士山を背景に、芦ノ湖やそれを取り囲む屏風山、駒ヶ岳、三国山を含む箱根外輪山を一望にできます。

条件の良い日には箱根の代表な景観を楽しめます。

Taikan-zan [-mountain] *Fujimi-touge* [-pass]

Taikan-zan, one of the mountains surrounding *Ashino-ko*, is located about 2.5 km to the southeast of the shores of *Ashino-ko*[-lake], and 1,015 m above sea level.

The *Fujimi-touge* of *Taikan-zan* can be reached within fifty minutes by bus from *JR Yugawara Station*, or within thirty minutes by car from the Odawara region by way of the *Hakone Turnpike*.

The *Fujimi-touge* has a panoramic view of *Ashino-ko* and a range of mountains, including *Byoubu-yama* [-mountain], *Komaga-take* [-mountain] and *Mikuni-yama* surrounding the lake with *Fuji-san* [-mountain] rising in the background.

Under favorable conditions we can enjoy this most representative view of Hakone.

2. 2 静岡県

9

2. 2. 1 三保松原(みほのまつばら)

現在、「世界遺産 富士山」の構成素となっている。画像9の富士山を背景として、砂浜、松原の眺めは、日本の代表的な風景として古今の日本の芸術作品の題材とされ、海外でも有名である。駐車場が広く、土産物店が多く、平日でも多くの観光客が見られる。



10



三保松原の松林の中に10の案内板が存在する。画像11の「世界遺産 富士山」の下に設置されている。「世界遺産 富士山」の構成素である他の観光名所、例えば画像12の「富士山本宮浅間大社」でも同じ書式の案内板が見られる。日本語、英語説明の文字に赤みがかかっている。右側の図表の文字に倣い、白文字にするべきと思う。

日本語・英語説明は以下の通りである。

三保松原

Mihonomatsubara pine tree grove

「万葉集」をはじめ、数多くの和歌の歌枕となり、16世紀以降は三保松原と富士山を描いた多くの絵画作品のモチーフとして取り上げられました。また、富士山への参拝の道筋に位置付けられた重要な霊地でもありました。松原、砂浜、海の彼方に富士山がそびえる風致景観は極めて日本の原風景であり、名勝に指定されています。

Since the "Man-yoshu" (Collection of a Myriad Leaves), Japan's oldest anthology of poems, was compiled in the 8th century, the Mihonomatsubara pine tree grove has been the subject of many "waka" poems. Since the 16th century, it became a motif in many drawings and paintings depicting Fujisan together with the Mihonomatsubara pine tree grove. It was also an important spiritual spot situated on the route of the worship-ascents to Fujisan. It is designated as a National Place of Scenic Beauty, because the scenic landscape of the pine tree grove and the sand beach in the foreground with Fujisan rising in the distance across the sea forms an archetypal scenic image of Japan.

日本語、英語説明共に、完全に内容が一致する。図表が大きく案内板の記述スペースが狭いため、段落分けをしていない。スペースが許されれば、三つの段落に分けられるであろう。

日本語、英語ともに、概ね、「歴史的な文学・芸術作品・信仰の対象」→「名所の地位」の順に記述している。「世界遺産 富士山」構成素となった理由を最初に記述しており、この記述順には賛成できる。しかし、一般的には、「売り」である「名所の地位」を最初に記述してもよいかもしれない。

以下、二つの段落に分け、検討を加える。

三保松原

Mihonomatsubara pine tree grove

表題について、“pine tree grove”は「松原」の説明である。福島(2015.7)、(2015.9)に従い、()中に記述する。「みほの」を分節して前に置き、また()中にその意味に明示し、“Miho-no-

matsubara (the pine tree grove of the Miho area)” とすることを提案する。

Since the “*Man-yoshu*” (Collection of a Myriad Leaves), Japan’s oldest anthology of poems, was compiled in the 8th century, the Mihonomatsubara pine tree grove has been the subject of many “*waka*” poems. Since the 16th century, it became a motif in many drawings and paintings depicting Fujisan together with the Mihonomatsubara pine tree grove. It was also an important spiritual spot situated on the route of the worship-ascents to Fujisan.

表記は表題の提案に倣い、そして「三保松原」を文頭にする。“*Man’you-shuu*” とする。説明部分であるので、大文字を使用せず、“the collection of myriads of poems” とする。“*waka* [Japanese poems]” とする。過去から現在にわたって題材とされてきているので、動詞を現在完了にする。文頭の“The Miho-no-matsubara” と距離があるので、そのまま主語とし、“*Miho-no-matsubara has been*” とする。「(三保松原だけでなく) 富士山も描かれている」という内容であるので、“in which *Fuji-san* [-mountain] was depicted as well” と簡略化する。尚、“Fujisan” は、“*Fuji-san* [-mountain]” と表記する。“*Miho-no-matsubara has been the subject of many waka (Japanese poems) since the Man’you-shuu (the collection of myriads of poems), Japan’s oldest anthology of poems, was compiled in the 8th century. Since the 16th century, Miho-no-matsubara has been a motif in countless drawings and paintings in which Fuji-san was depicted as well. It was also an important spiritual spot situated on the route of the worship-ascents to Fuji-san.*” とすることを提案する。

It is designated as a National Place of Scenic Beauty, because the scenic landscape of the pine tree grove and the sand beach in the foreground with Fujisan rising in the distance across the sea forms an archetypal scenic image of Japan.

「長過ぎる」と感じられる。「名勝に指定されている」ことと、「具体的な風景描写」を分け、さらに後者を2文に分けた方が、描写が明確になると思われる。案内板に、本稿執筆者撮影の9のよう画像を添付すると効果的と思われる⁴⁾。

前の段落の最後の文で人称代名詞 “It” を使用しており、また、段落分けしているので、“*Miho-no-matsubara is designated....*” とする。そして、“because....” は、具体的に風景を描写している。添付した画像に触れながら2文に独立させる。富士山の眺めの記述は文として独立させる。“***The scenic landscape (shown in the photo) forms an archetypal image of Japan. The majestic image of Fuji-san can be seen rising in the distance. In the foreground the pine tree grove with its sandy beach appears just over the wavy ocean water.***” とすることを提案する。

修正提案などを含めたものをまとめると、次の通りである。各段落の始めは、3文字分スペースを空ける。第二段落を第一段落にしてもよいかもしれない。

Miho-no-matsubara (the pine tree grove of the Miho area)

そして副題として “— Forming an Archetypal Image of Japan with *Fuji-san* [-mountain] in the Background —” を提案する。

Miho-no-matsubara has been the subject of many waka (Japanese poems) since the Man’you-shuu (the collection of myriads of poems), Japan’s oldest anthology of poems, was compiled in the 8th century. Since the 16th century, Miho-no-matsubara has been a motif in countless drawings and paintings in which Fuji-san was-depicted as well It was also an important spiritual spot situated on the route of the worship-ascents to Fuji-san

Miho-no-matsubara is designated as a National Place of Scenic Beauty. The scenic landscape (shown in the photo) forms an archetypal image of Japan. The majestic image of the Fuji-san can be seen rising in the distance. In the foreground the pine tree grove with its sandy beach appears just over the wavy ocean water.

11

さて、「三保松原」などで構成される「世界遺産 富士山」について、11の案内板が10の上に見られる。同一の案内板が2. 2. 2の浅間大社にも見られる。

ユネスコの世界遺産登録の際には“Fuji-san”と分節せず、“Fujisan”と固有名詞化されていることがわかる。

銅版に浮彫を施したもので、手入れにかなりの労力が必要である。光線の加減では、赤みを帯びた文字に見え、視覚障害者には読みにくいと思われる。



11の案内板中の日本語・英語説明は以下の通りである。

世界遺産

富士山

信仰の対象と芸術の源泉

“富士山－信仰の対象と芸術の源泉”は、「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」の世界遺産一覧表に登録されています。

2013年6月26日登録

人々は噴火を繰り返す富士山を神が宿る山として恐れ敬うとともに、美しく雄大な富士山を詩歌や絵画に描いてきました。

このような「信仰の対象」と「芸術の源泉」としての文化的価値を持つ富士山は、全人類共通の保護すべき宝として、2013年6月26日、世界遺産に登録されました。

世界遺産として登録された範囲は、山そのものだけでなく、信仰や芸術と関係する山麓の神社や湖・湧水池・滝・松原などの25カ所です。

World Heritage

Fujisan

Fujisan, sacred place and source of artistic inspiration

“Fujisan, sacred place and source of artistic inspiration” has been inscribed upon the World Heritage List of the convention concerning the Protection of the World Cultural and Natural Heritage.

Date of inscription : June 26, 2013

People have feared and revered Fujisan, which has erupted repeatedly, as the mountain in which the gods resided. Fujisan and its beautiful form also have been featured in many artistic works such as poems and paintings.

Because of its cultural value as an object of worship and a source of artistic inspiration, Fujisan was inscribed upon the World Heritage List on June 26th 2013 as a common treasure which deserves protection for the benefit of all humanity.

The inscribed properties include not only the mountain itself but also a total of 25 component parts such as shrines, lakes, springs, waterfalls and pine tree groves, those of which are located at the foot of Fujisan and closely connected in terms of religious worship and works of art.

日本語、英語説明共に、完全に内容が一致する。本文を3段落に分けている。

「信仰及び芸術の対象としての歴史」→「世界遺産登録」→「世界遺産 富士山の構成素」の順に記述している。この記述順について賛成できる。しかし、最初に世界遺産登録の記述が存在しな

ければ、本文第二段落の「世界遺産登録」を第一段落とするべきと思われる。一般観光客には最も興味深い事実と思えるからである。

最初の世界遺産登録の記述に関しては、引用であるし、もちろん英語上の問題点は存在しない。

しかし、表題の“Fujisan”は“*Fuji-san* [-mountain]”、副題の“Fujisan...”は“***Fuji-san...***”とする。案内板の本文について、段落ごとに、検討を加える。

People have feared and revered Fujisan, which has erupted repeatedly, as the mountain in which the gods resided. Fujisan and its beautiful form also have been featured in many artistic works such as poems and paintings.

「富士山」を文頭にする。態の転換を行う。“Fujisan”は、外国人の日本語学習者のために、本文中では、分節をし、“***Fuji-san* [-mountain]**”と表記し、“san”が“mountain”を表すことを明示する。(以下は、単に、“***Fuji-san***”とする。)“***Fuji-san* [-mountain], which has erupted repeatedly, has been feared and revered as the mountain in which the gods resided.**”とすることを提案する。

Because of its cultural value as an object of worship and a source of artistic inspiration, Fujisan was inscribed upon the World Heritage List on June 26th 2013 as a common treasure which deserves protection for the benefit of all humanity.

最初の世界遺産登録の日付表記に従い、“**on June 26, 2013**”とすることを提案する。

The inscribed properties include not only the mountain itself but also a total of 25 component parts such as shrines, lakes, springs, waterfalls and pine tree groves, those of which are located at the foot of Fujisan and closely connected in terms of religious worship and works of art.

「長い」と感じられる。非制限関係詞節“those of which are located...”を“**They are located....**”と、文として独立させる。“***Fuji-san***”と表記する。一般的なコロケーションを使用し、“**are closely connected with**”とする。

修正提案などを含め、全体をまとめると、次の通りである。各段落の始めは、3文字分スペースを空ける。世界遺産指定の記述には、修正案を加えていない。

Fuji-san [-mountain]

Fuji-san, sacred place and source of artistic inspiration

“Fujisan, sacred place and source of artistic inspiration”has been inscribed upon the World Heritage List of the convention concerning the Protection of the World Cultural and Natural Heritage.

Date of inscription : June 26, 2013

Fuji-san, which has erupted repeatedly, has been feared and revered as the mountain in which the gods resided. *Fuji-san* and its beautiful form also have been featured in many artistic works such as poems and paintings.

Because of its cultural value as an object of worship and a source of artistic inspiration, *Fuji-san* was inscribed upon the World Heritage List on June 26, 2013 as a common treasure which deserves protection for the benefit of all humanity.

The inscribed properties include not only the mountain itself but also a total of 25 component parts such as shrines, lakes, springs, waterfalls and pine tree groves. They are located at the foot of *Fuji-san* and are closely connected with religious worship and works of art.

2. 2. 2 浅間大社（せんげんたいしゃ）

浅間神社（あさまじんじゃ）と呼ぶことも多い。静岡県富士宮市に位置する。全国の浅間神社の総本宮である。境内には特別天然記念物に指定されている「湧玉池（わくたまいけ）」が存在する。駐車場が広く、周辺には「富士宮焼きそば」などを提供する食事処が見られる。

浅間大社に入っすぐ、12の境内案内図を含めた「祭神」、「由緒」、「湧玉池」などを記した、日本語、英語説明の案内板が見られる。記述量が多いので、じっくり読める観光客は少ないと思える。リーフレットなどに任せるべきであろう。むしろ、13の「富士山」の下に併設されている案内板を独立させて設置するほうが有意義であろう。

2. 2. 1の「三保松原」と同様に、「世界遺産 富士山」の下に「浅間大社」の案内板が設置されている。

13の「浅間大社」案内板中の日本語・英語説明は以下の通りである。

富士山本宮

浅間大社

Fujisan Hongu Sengen Taisha Shrine

富士山の神である浅間大神を祀り、富士山の噴火を鎮めることを目的として創建された神社です。登山が盛んになると大宮・村山口登山道の起点となりました。古代から近代（現代）に至る山岳信仰のあり方を考える上で重要であることから、八合目以上の山頂部、登山道とともに史跡に指定されています。また、17世紀初頭の建造とされる独特の2階構造の本殿は重要文化財に、禊の場とされた豊かな湧水を誇る湧玉池は特別天然記念物に指定されています。

This Shinto shrine was built to worship “Asama no Okami”, the god of Fujisan, and therefore pacify the volcano’s eruption. As the ascents of Fujisan became popular, the shrine served as a starting point of the Omiya-Murayama Ascending Route. It is designated as a National Historic Site, together with the mountaintop area above the 8th station and the ascending routes, because of the importance in understanding the history of mountain worship from ancient times up to the modern period.

The 17th century shrine buildings, characterized by the distinctive two-storied structure, are designated as a National Important Cultural Property.

Wakutamaike Pond, characterized by abundant pouring water used for ablution, is designated as a Historical Special Natural Monument.

日本語、英語説明共に、内容が一致する。本文の日本語説明は2つの段落、英語説明は3つの段落からなる。

日本語説明は、概ね、「建設の目的・文化財としての地位」→「見どころ（本殿・湧玉池）」の順に記述している。英語説明は、「建設の目的・文化財としての地位」→「見どころ（本殿）」→「見どころ（湧玉池）」の順に記述している。この記述順について賛成できる。英語説明について、本稿では、「建設の目的」→「富士山岳信仰の起点」→「見どころ（本殿・湧玉池）」とすることを提案する。また、独立させた案内板には、14の「本殿」、15の「湧玉池」の画像を添付するとよいであろう。

12



13



14



15



以下、英語説明について、段落に分け、検討を加える。

富士山本宮

浅間大社

Fujisan Hongu Sengen Taisha Shrine

表題は、「富士山本宮浅間大社」を一つの固有名詞構造としている。これは「富士山本宮である浅間大社」の意味である。また、「本宮」、「大社」の意味も明示した方が外国人観光客にとって親切と思われる。福島(2015.7)、(2015.9)に従い、地名・人名ではないので、イタリック体とする。“*Sengen-taisha (the grand shrine), a.k.a. Fuji-san [-mountain] Honguu (the main shrine)*” とすることを提案する。

This Shinto shrine was built to worship “Asama no Okami”, the god of Fujisan, and therefore pacify the volcano’s eruption.

これまでと同様、「富士山の神」という説明部分を()に補う。表題を文頭にする。“**The *Sengen-taisha* was built to worship “Asama-no-Ookami”(the god of *Fuji-san*), who pacifies the volcano’s eruption.**” とすることを提案する。

As the ascents of Fujisan became popular, the shrine served as a starting point of the Omiya-Murayama Ascending Route. It is designated as a National Historic Site, together with the mountaintop area above the 8th station and the ascending routes, because of the importance in understanding the history of mountain worship from ancient times up to the modern period.

福島(2015.7)、(2015.9)に従い“**the Oomiya-Murayama Tozan-dou (ascending routes)**”とする。Because of 構造が、「浅間大社が有する(歴史的的重要性)」を明確にし、“**its importance**”とする。「現在まで」をより平明にし、“**up to now**” とすることを提案する。

The 17th century shrine buildings, characterized by the distinctive two-storied structure, are designated as a National Important Cultural Property.

Wakutamaike Pond, characterized by abundant pouring water used for ablution, is designated as a Historical Special Natural Monument.

双方共に「境内の見どころ」を国の指定名称を記述しており、1つの段落に収めるほうがよいと

思われる。日本語説明の「独特な」をそのまま英語にしたと思われるが、この意味は“distinctive”で足りる。「…を主とする」の意味とし、“predominated by its”とする。主語を“buildings”とするならば、文法的には“National Important Cultural Properties”とするべきである。「湧玉池」は、境内にあり、一般的な地名とは異なる。一種の「付属施設」と考え、イタリック体にする。“ike”が「池」の意味であることを明示し、“The *Wakutama-ike* [-pond]”とすることを提案する。

修正提案などを含めたものをまとめると、次の通りである。各段落の始めは、3文字分スペースを空ける。

Sengen-taisha (the grand shrine), a.k.a. *Fuji-san Honguu* (the main shrine)

The *Sengen-taisha* was built to worship “Asama-no-Ookami”(the god of Fuji-san), who pacifies the volcano’s eruption.

As the ascents of *Fuji-san* became popular, the shrine served as a starting point of the *Oomiya and Murayama Tozan-dou* (ascending routes). The shrine is designated as a National Historic Site, together with the mountaintop area above the 8th station and the ascending routes, because of its importance in understanding the history of mountain worship from ancient times up to now.

The 17th century shrine buildings, well-known for its distinctive two-storied structure, are designated as National Important Cultural Properties. The *Wakutama-ike* [-pond] in its precincts, characterized by abundant pouring water used for ablution, is designated as a Historical Special Natural Monument.

2. 2. 3 葦山反射炉

16

16の「葦山反射炉」の敷地は狭い、という印象をもつ。「明治日本の産業革命遺産」として、最近、「世界文化遺産」に登録され、観光客の数が多し。しかし、最寄りの伊豆長岡駅から



17



から徒歩約25分にあり、交通の便が悪く、多くの観光客が車で訪れる。そのためか、葦山反射炉の敷地面積と比較すると、駐車場は広い。

入場券売り場から入って、反射炉の右、画像16の撮影場所付近に17の案内板が見られる。一般的には、包括的説明の案内板は、入場券売り場付近に設置するべきと思われる。敷地が狭いため、入場券売り場付近が混雑するので、この位置での設置は妥当と思われる。

17の案内板中の日本語及び英語説明は以下の通りである。

国指定史跡

葦山反射炉

葦山反射炉は、葦山の代官江川太郎左衛門英龍(担庵)らにより、安政元年(1854年)に着工、同4年(1857年)に完成した金属熔解炉である。

18～19世紀におけるアジア近隣は、西欧諸国の力による進出で、国権さえ危うくする事態が諸所に起きていたが、鎖国政策により海外への目を閉ざされていた日本は、表面泰平をむさぼる状態にあった。先覚者担庵はこれを深く憂え、国防特に海防の必要性を強く訴え、幕府に対して江戸湾防備の具体策を進言してきたが、やがて幕府の容れるところとなり、品川沖に台場を構

福島 一人：観光英語(10)：神奈川県と静岡県の観光名所、箱根、静岡、浜松、伊豆などに見られる案内板の英語

築し、大砲を据え、侵入する異国船を打ち払う方針が打ち出された。

台場据え付けの大砲は、従来のもより長射程で堅牢、かつ価格の低廉さが要求され、この条件を満たすためには、鉄製で口径長大なる砲の政策が必要となった。かねてより、このことあるを予想し、夙に研究と準備を進めてきた担庵は、幕府の裁許が下るや直ちに反射炉築造に着手するが、不幸にして安政2年1月病没、その意志を受け継いだ英敏らによって完成することとなる。しかし、度々の天災や粗悪な銑鉄使用の弊害等が重なり、鑄砲の成功までには並々ならぬ困難があったと諸記録に見える。

炉が反射炉と呼ばれる所以は、燃焼ガスの反射熱を利用して金属を熔解する方式によるもので、幕末期わが国ではいくつかの反射炉が作られている。しかし現存するものとしては、山口県萩と韭山のみ、また当時の姿をほぼ完全な形で残すものとしては韭山反射炉をおいて他にない。更には、産業革命の進む西欧では、間もなく効率の良い高炉の発達により、反射炉は短期間に消滅していったところから、反射炉の実態を知る上で、世界的にも貴重な遺産として捉えることができよう。近時わが国の鉄鋼業は、世界に冠たる業績を挙げてきたが、これも反射炉築造に挑んだ先人達の意気と、粒々辛苦の教訓が、今に受け継がれているものと思われる。

Historical Cultural Property

Nirayama Reverberatory Furnaces

Nirayama Reverberatory Furnaces was constructed toward the end of the Edo Era (in the 1850's) for the purpose of casting iron cannons.

It is the sole surviving Japanese reverberatory furnace that was actually put into operation.

The furnace consists of two twin structures, the lower part of which is made of Izu Stone (tuff), and the upper part, of piled bricks.

Even though the Nirayama Reverberatory Furnaces operated for a short period from 1857 to 1864, construction of reverberatory furnaces, including others in Japan, represents a turning point in Japan's industrial history, the first major manifestation of modern iron making technology.

昔書かれたものであるのか、日本語説明はアンダーラインをひいた部分などかなり文語調である。4段落から成る。対応する英語説明は、やはり4段落から成るが、口語調であり、簡略化されている。段落数は同じであるが、日本語説明は各段落を、概ね、「建設年度と建設者」→「建設時の社会情勢」→「建設目的・経緯」→「反射炉の構造、特筆に値すること（売り）・建設の歴史的意義」の順に分け、記述している。

一方、英語説明は、簡略化している。「建設年度、目的」→「特筆に値すること（売り）」→「反射炉の構造」→「建設の歴史的意義」の順に分け、記述している。「江川太郎左衛門」について記していないことは、疑問を感じるが、案内板上としては、一般観光客にとって必要かつ十分な記述内容と言えらう。

以下、英語説明について、段落に分け、検討を加える。

Nirayama Reverberatory Furnaces

「韭山反射炉」を英文字綴りにし、() でその意味を説明する。“**Nirayama-hansharo (the reverberatory furnaces of the the Nirayama area)**” とすることを提案する。「韭山反射炉」は地名、人名ではないので、イタリック体にする。「韭山の所有する」、あるいは、「韭山の有名な」の意味を強め前置詞を“**of**”とする。

Nirayama Reverberatory Furnaces was constructed toward the end of the Edo Era (in the 1850's) for the purpose of casting iron cannons.

表題に合わせ。“**The Nirayama-hansharo were constructed**” とする。表題で、複数形で説明しているので、“**were**” とする。日本語説明に合わせ、「韭山の代官、江川太郎左衛門などにより …」を補い。さらに2文に分け、“**The Nirayama-hansharo were constructed by the local people**

including Egawa Tarouzaemon, the regional magistrate. They were built towards the end of the *Edo-jidai* [-period]....” とすることを提案する。

It is the sole surviving Japanese reverberatory furnace that was actually put into operation.

第一段落と同様に複数とし、“**They are**”、“**reverberatory furnaces that were**” とする。

The furnace consists of two twin structures, the lower part of which is made of Izu Stone (tuff), and the upper part, of piled bricks.

“**The furnaces consist of**” とする。

Even though the Nirayama Reverberatory Furnaces operated for a short period from 1857 to 1864, construction of reverberatory furnaces, including others in Japan, represents a turning point in Japan’s industrial history, the first major manifestation of modern iron making technology.

文が長過ぎる。3文に分ける。“...from 1857 to 1864.”までで文として独立させる。“Even though...”という譲歩節を使用しなくても、“a turning point”によって、その意味が十分に表せると思える。“the first major manifestation....”を単に同格の句として並列させず、文として独立させ、“**They were the first manifestations....**” とする。この段落を “**The Nirayama-hansharo were operated for only a short period from 1857 to 1864. The construction of reverberatory furnaces, including others in Japan, represented a turning point in Japan’s industrial history. They were the first major manifestations of modern iron making technology**” とすることを提案する。

修正提案などを含めたものをまとめると、次の通りである。各段落の始めは、3文字分スペースを空ける。副題として、特筆に値すること、「ウリ」を加える。

Nirayama-hansharo (the reverberatory furnaces of the Nirayama area)

—The Only Japanese Reverberatory Furnaces of the 1850’s Actually Put into Operation—

The *Nirayama-hansharo* were constructed by the local people including Egawa Tarouzaemon, the regional magistrate. They were built towards the end of the *Edo-jidai* [-period] (in the 1850’s) for the purpose of casting iron cannons.

They are the sole surviving Japanese reverberatory furnaces that were actually put into operation.

The furnaces consist of two twin structures, the lower part of which is made of Izu Stone (tuff), and the upper part, of piled bricks.

The *Nirayama-hansharo* were operated for only a short period from 1857 to 1864. The construction of reverberatory furnaces, including others in Japan, represented a turning point in Japan’s industrial history,. They were the first major manifestations of modern iron making technology.

2. 2. 4 修善寺自然公園もみじ林

修善寺温泉街から徒歩20分ほどにある。秋になると、「紅葉狩り」のバスを出してくれる宿泊施設もある。近くにある駐車場は広いが、回り道をしなければならない。画像18は、2015.11.29の16時頃に「もみじ林」内の「富士見台」から本稿執筆者が撮影したものであるが、条件が良ければ、水墨画風の富士山を楽しめる。

19の略図入りの案内板が公園の入り口と、18の撮影場所

18



である「富士見台」に見られる。伊豆市作成のものである。

19

19の案内板中の日本語及び英語説明は以下の通りである。

修善寺自然公園もみじ林

Shuzenji Nature Park “Momiji-bayashi (Maple Groves)”

修善寺自然公園は大正13年(1924)に旧修善寺町制施行記念として作られました。その際、もみじや赤松の苗を植樹、キンモクセイ・ツバキ・ツツジも植えられ、順次整備しながら現在に至っています。

特に「もみじ林」は伊豆最大といわれ、隣接する修善寺虹の里のもみじ林とあわせて約2haあります。多くのもみじは11月下旬から12月上旬にかけて美しく紅葉をします。その鮮やかさは必見です。

いつまでもこの自然を絶やさないように、みんなでこの公園を守りましょう。

Shuzenji Nature Park “Momiji-bayashi (Maple Groves)” was established as a memorial for old Shuzenji town in 1924. A lot of maple trees, Japanese red pines, orange osmanthus, Japonica, and azalea have been planted in the park.

The Momiji-bayashi (Maple Groves) is the most famous and biggest place for Maple groves in Izu. The area where Shuzenji Niji-no-sato and Momiji-bayashi is in 2ha. Visitors are able to enjoy a magnificent view of scarlet-tinged leaves during the middle of November to the beginning of December.

Please don't pick a plant and a flower in order to keep the valuable nature for our park.

(伊豆市作成)

日本語説明、英語説明共に、「修善寺自然公園の設置、植物」→「もみじ林と虹の里・見もの(ウリ)」→「注意書き」の順に、3段落に分け記述している。説明内容は完全に一致している。

以下段落ごとに検討を加える。

Shuzenji Nature Park “Momiji-bayashi (Maple Groves)”

表題について、一種の「施設」と思えるのでイタリック体で表記する。「修善寺自然公園」、「もみじ林」を英文字綴りにし、() でその意味を説明する。“**Shuzenji Shizen-kouen (nature park) “Momiji-bayashi (maple groves)”**” とすることを提案する。原文では、全体を一つの固有名詞としているが、説明文から「もみじ林」が「修善寺自然公園」の一部とわかる。原文をある程度尊重し、かつ、そのことを明示するために、コンマで接続する。

Shuzenji Nature Park “Momiji-bayashi (Maple Groves)” was established as a memorial for old Shuzenji town in 1924. A lot of maple trees, Japanese red pines, orange osmanthus, Japonica, and azalea have been planted in the park.

「(公園を)造る」は、「(記念に)造る」などの場合、“lay out” が一般的なコロケーションである。表題の提案も含め、“**The Shuzenji Shizen-kouen, Momiji-bayashi was laid out**” とすることを提案する。「修善寺自然公園もみじ林」を一つの集合体とし、単数扱いする。次の段落で他の伊豆の「もみじ林」との比較がされていることによる。



The Momiji-bayashi (Maple Groves) is the most famous and biggest place for Maple groves in Izu. The area where Shuzenji Niji-no-sato and Momiji-bayashi is in 2ha. Visitors are able to enjoy a magnificent view of scarlet-tinged leaves during the middle of November to the beginning of December.

福島(2008.3)で述べたが、文章中での「(サイズなどが)大きい」は“large”を使用することが普通である。表題で「林」の説明はしているので、“(Maple Groves)”を省略する。「もみじの生えている場所」の中の“Maple”を小文字で始め、“...place for maple groves in Izu”とする。日本語説明の「...といわれ」に合わせ、“**The Momiji-bayashi is said to be the most famous and largest place for maple groves in Izu**”とする。「修善寺虹の里ともみじ林の面積は約2ha」という単純な意味であるから、関係副節を用いずに、“**The area of the Shuzenji Niji-no-sato and the Momiji-bayashi is about 2ha.**”とする。

次の「...11月下旬から12月上旬にかけて素晴らしい紅葉を楽しめる」という内容の英語は「特筆に値すること(ウリ)」である。段落を分けることを提案する。また、日本語の説明に合わせ、“**from the end of November to...**”とすべきである。

Please don't pick a plant and a flower in order to keep the valuable nature for our park.

「(公園内の)植物や花を採取しないでください」の内容では定冠詞と複数名詞を使用する。“and”は文法的に誤りである。“or”を使用するべきである。「(自然を)保護する」の動詞は、“**preserve**”や“**conserve**”を使用するのが普通である。「我々の公園のために」という発想から“for our park”としたと思えるが、ここは“**in the park**”とすることを提案する。“please”と“don't”が共起することを疑問視する日本人がいるが、問題はない。“**Please don't pick the plants or flowers in order to preserve the valuable nature in the park.**”、あるいは、“**In order to preserve the valuable nature in the park, please don't pick the plants or flowers.**”とすることを提案する。

修正提案などを含めたものをまとめると、次の通りである。各段落の始めは、3文字分スペースを空ける。英語説明の本文は4段落にすることを提案する。

Shuzenji Shizen-kouen (nature park)“Momiji-bayashi (maple groves)”

The Shuzenji shizen-kouen “Momiji-bayashi” was laid out as a memorial for old Shuzenji town in 1924. A lot of maple trees, Japanese red pines, orange osmanthus, Japonica, and azalea have been planted in the park.

The Momiji-bayashi is said to be the most famous and largest place for maple groves in Izu The area of the Shuzenji Niji-no-sato and the Momiji-bayashi is about 2ha.

Visitors are able to enjoy a magnificent view of scarlet-tinged leaves from the end of November to the beginning of December.

Please don't pick the plants or flowers in order to preserve the valuable nature in the park

2. 2. 5 登呂遺跡

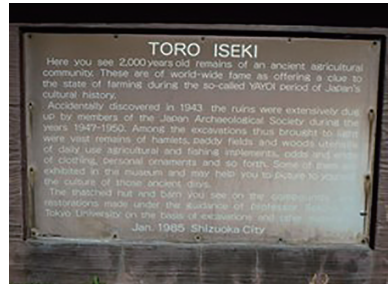
静岡駅からバスで約15分の、弥生時代の遺跡である。弥生時代の「米づくり」の様子が初めて明らかになったことで有名である。遺跡としては、最初に観光地化された。しかし、30年ほど前から注目を浴びるようになった、やはり弥生時代遺跡である「吉野ヶ里遺跡」に比べると、はるかに規模は小さい。遺跡内には「登呂博物館」があり、出土品が数多く展示されており、ボランティアガイドが丁寧に説明して下さる。

「登呂博物館」屋上テラスからの撮影画像20のように、竪穴住居と、その手前に水田も復元されている。

奇妙なことに、大きな駐車場には、日本語の案内図は見られたが、「登呂遺跡」自体の包括的説明を行う日本語案内板は存在せず、21の英語案内板のみ見られた。静岡市作成のものである。



21



21の案内板中の英語説明は以下の通りである。

TORO ISEKI

Here you see 2,000 years old remains of an ancient agricultural community. These are of world-wide fame as offering clue to the state of farming during the so-called YAYOI period of Japan's cultural history.

Accidentally discovered in 1943 the ruins were extensively dug up by members of the Japan Archaeological Society during the years 1947-1950. Among the excavations thus brought to light were vast remains of hamlets, paddy fields and woods utensils of daily use agricultural and fishing implements, odds and ends of clothing, personal ornaments and so forth. Some of them are exhibited in the museum and may help you to picture to yourself the culture of those ancient days.

The thatched hut and barn you see on the compounds are restorations made under the guidance of professor Sekino of Tokyo University on the basis of excavations and other materials.

Jan. 1985 Shizuoka City

「登呂遺跡の意義」→「発見と発掘の歴史と遺跡・出土品」→「竪穴住居の復元」の順に、本文を3段落に分け記述している。「意義」を第一段落に置いていることに、賛成できる。第二段落は「遺跡・出土品が細かく記述されており、別段落にすることを提案する。

以下、本文の段落ごとに検討を加える。

TORO ISEKI

表題について、地名人名ではないのでイタリック体を用い、また他にも「...遺跡」が存在するので、“*Toro-iseki* (the ruins of the Toro area)”とする。

Here you see 2,000 years old remains of an ancient agricultural community. These are of world-wide fame as offering clue to the state of farming during the so-called YAYOI period of Japan's cultural history.

外国人観光客を積極的に誘い込もうとする文体と思える。しかし、筆者は、一般的な文体として、文頭を“*Toro-iseki*”とすることを提案する。表題で“(the ruins of Toro)”と説明しているので、be動詞は“are”とする。“is”とするか、“are”とするかはネイティブスピーカーも迷うところであるが、筆者は“are”とする。表題の“ruins”を使用し、第一文を“**The *Toro-iseki* are the 2,000-year-old**

ruins of an ancient agricultural community”とすることを提案する。原文の第一文とは逆に、文語調過ぎると思われる。“are famous worldwide”とする。また、簡単に、“**because they offer...**”とする。日本語学習者のために、「弥生時代」を“**Yayoi-jidai [-period]**”とする。“**These ruins**”を主語とし、全体を“**These ruins are famous worldwide because they offer important clues to the state of farming during the so-called Yayoi-jidai [-period] of Japan’s cultural history.**”とすることを提案する。

Accidentally discovered in 1943 the ruins were extensively dug up by members of the Japan Archaeological Society during the years 1947-1950. Among the excavations thus brought to light were vast remains of hamlets, paddy fields and woods utensils of daily use agricultural and fishing implements, odds and ends of clothing, personal ornaments and so forth. Some of them are exhibited in the museum and may help you to picture to yourself the culture of those ancient days.

分詞構文は「付帯状況」を第一の意味」とし、“Judging from...”など定式化されたものを除き、意味は曖昧である。「1943年に偶然発見されてから、広範囲な発掘がなされ....」は、接続詞を用い、明確にし、“**Since they were accidentally discovered in 1943, the ruins had been extensively excavated....**”とすることを提案する。

次の“Among...”以下の「遺跡・出土品」については、細かく記述されており、別段落にすることを提案する。

“paddy fields and woods”の後にコンマを補う。“utensils of daily use”を“**utensils for daily use**”とし、そのあとにコンマを補う。さらに、“personal ornaments”の後にコンマを補う。“**remains of hamlets, paddy fields and woods, utensils for daily use, agricultural and fishing implements, odds and ends of clothing, personal ornaments, and so forth.**”とすることを提案する。“picture to yourself”はやや冗長に感じられる。単純に“**help you to picture the culture of those ancient days**”とする。

The thatched hut and barn you see on the compounds are restorations made under the guidance of professor Sekino of Tokyo University on the basis of excavations and other materials.

代表単数という考えから単数にしたと思われるが、“**The thatched huts and barns**”と複数にする。“restorations”は、「復元された建造物」を意味するので、“make a restoration of...”「...を復元する」の“make”の過去分詞ではなく、“**built**”を使用する。「発掘調査に基づく資料を用いて」と簡略化し、“**using materials based on his research from the excavation**”とすることを提案する。

修正提案などを含めたものをまとめると、次の通りである。各段落の始めは、3文字分スペースを空ける。特筆に値すること、「ウリ」を副題として加える。

Toro-iseki (the ruins of the Toro area)

ENJOY THE YAYOI-JIDAI [-PERIOD] OF JAPAN’S CULTURAL HISTORY !!

The *Toro-iseki* are the 2,000-year-old remains of an ancient agricultural community. These ruins are famous worldwide because they offer important clues about the state of farming during the so-called *Yayoi-jidai* [-period] of Japan’s cultural history.

Since they were accidentally discovered in 1943, the ruins had been extensively excavated by members of the Japan Archaeological Society during the years 1947-1950.

Among the excavations thus brought to light were vast remains of hamlets, paddy fields and woods, utensils for daily use,

福島 一人：観光英語 (10)：神奈川県と静岡県の観光名所、箱根、静岡、浜松、伊豆などに見られる案内板の英語

agricultural and fishing implements, odds and ends of clothing, personal ornaments, and so forth. Some of them are exhibited in the museum and may help you to picture to yourself the culture of those ancient days.

The thatched huts and barns you see in the compounds are restorations built under the guidance of professor Sekino of Tokyo University, using materials based on his research from the excavation.

Jan. 1985 Shizuoka City

登呂遺跡と同様、弥生時代の遺跡として全国的に知られ、それよりも大規模なものは、吉野ヶ里遺跡である。佐賀県東部の吉野ヶ里町と神崎市にまたがる。

比較のため、吉野ヶ里遺跡の例を挙げる。

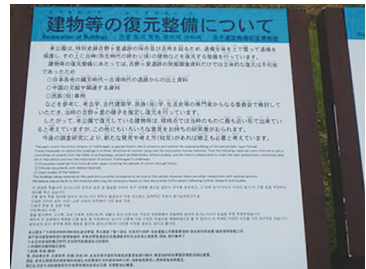
22



23



24



21の「TORO ISEKI」に対応する、包括的に説明する案内板は、23の「弥生時代と吉野ヶ里」、24の「建物等の復元整備について」と、2枚に分かれている。内部には、22の「北内郭」を含め複数の「見どころ」が存在するが、それらについて触れず、それらの説明は各見どころの案内板に任せている。24の案内板には、「記述の変更があり得る」と記していることが珍しい。「発掘、研究が現在も進行中であること」を強調している。日本語・英語・韓国語・中国語で書かれている。⁵⁾小学生や外国人の日本語学習者を考慮してか、日本語の漢字にはすべて振り仮名が加えられている。外国語説明の多さからであろうか、23、24共に、英語説明は小活字であり、読みづらい。

23では、記述スペースがあるのだから、多くの見どころがあり、無料バスサービスがあることを加えるべきと思える。

「弥生時代と吉野ヶ里」について検討を加える。

弥生時代と吉野ヶ里

The Yayoi Period and Yoshinogari

弥生時代とは、今から1,700年前～2,300年前、およそ600年間続いた時代です。吉野ヶ里遺跡は、この弥生時代600年間の流れを辿ってける全国唯一の遺跡です。現在復元しているのは、今から1,800年頃の吉野ヶ里の姿です。みなさん、ゆっくり弥生の世界を楽しんで下さい。

The Yayoi period started 1,700 years ago and lasted for approximately 600 years. The Yoshinogari ruins are the only remains in the nation that allow us to trace the 600 year Yayoi period. The scenes of Yoshinogari of 1,800 years ago have been restored today. Please take your time and enjoy the Yayoi world.

表題と殆ど同様、「弥生時代」と「吉野ヶ里遺跡」を並列して説明している。

本文を1段落で記している。

弥生時代と吉野ヶ里

The Yayoi Period and Yoshinogari

日本語、英語共、表題を、「弥生時代と吉野ヶ里遺跡」としてもよいと思われる。

「弥生時代と吉野ヶ里遺跡」、「*Yayoi-jidai [-period] and Yoshinogari-iseki (the ruins of the Yoshinogari area)*」とすることを提案する。日本語学習者のために、「登呂遺跡」と同じ表記法を提案する。

The Yayoi period started 1,700 years ago and lasted for approximately 600 years. The Yoshinogari ruins are the only remains in the nation that allow us to trace the 600 year Yayoi period. The scenes of Yoshinogari of 1,800 years ago have been restored today. Please take your time and enjoy the Yayoi world.

表題に合わせ、“*The Yayoi-jidai*”、“*The Yoshinogari-iseki*”とする。最初の文に“approximately”が存在するので、「600年の」を“entire”とし、“*the entire Yayoi-jidai*”とする。

ここで別段落にし、見どころを概略する。「姿＝風景」は、“scene”よりむしろ“sight”のほうが普通である。まだ、全体が復元されているわけではないので、“Some of the...”とする。さらに、「1800年前に見られたであろう風景が」と丁寧に、“Some of the common sights of the Yoshinogari that would have been seen 1,800 years ago”とする。「復元されており、今日見ることができる」と丁寧に、“...have been restored and can be seen today.”とする。その後、「北墳丘墓」、「北内郭」、「南内郭」など見どころが多いです。「*There are many places worth visiting, such as the Kita-funkyuubo (north burial mound), the Kita-naikaku (north inner palace), the Minami-naikaku (south inner palace), etc.*」を加える。尚、「北墳丘墓」などの英語説明（ ）は、現地の英語版リーフレットに準じている。

「みなさんゆっくり弥生の世界を楽しんで下さい。」は別段落にする。そして、さらに、別段落にし、「無料循環バスがあります。「*There are free bus-services available that loop around the Yoshinogari-iseki.*」」を加えることを提案する。

修正提案などを含めたものをまとめると、次の通りである。各段落の始めは、3文字分スペースを空ける。英語説明の本文は3段落にすることを提案する。

弥生時代と吉野ヶ里遺跡

Yayoi-jidai [-period] and Yoshinogari-iseki (the Yayoi period and the ruins of the Yoshinogari area)

The Yayoi-jidai started 1,700 years ago and lasted for approximately 600 years.

The Yoshinogari-iseki are the only ruins in the nation that allow us to trace the entire Yayoi-jidai. Some of the common sights that would have been seen in Yoshinogari 1,800 years ago have been restored and can be seen today. There are many places worth visiting, such as the Kita-funkyuubo (north burial mound), the Kita-naikaku (north inner palace), the Minami-naikaku (south inner palace), etc.

Please take your time and enjoy the Yayoi world.

There are free bus-services available that loop around the Yoshinogari-iseki.

24の「建物等の復元整備について」は、紙面に制限があるので、案内板の日本語説明と英語説明を挙げ、英語説明の修正案を記すにとどめる。24の英語説明の問題点には、アンダーラインを引く。

建物等の復元整備について

Restoration of Buildings

本公園は、特別史跡吉野ヶ里遺跡の保存及び活用を図るため、遺構全体を土で覆って遺構を保護し、その上に当時（弥生時代の終わり頃）の建物などを復元する整備を行っています。

建物等の復元整備にあたっては、吉野ヶ里遺跡の発掘調査だけでは立体的な復元は不可能であったため

- ◎日本各地の縄文時代～古墳時代の遺跡からの出土資料
- ◎中国の文献や関連する資料
- ◎民族（俗）事例

などを参考に、考古学、古代建築学、民族（俗）学、生活史等の専門家からなる委員会で検討していただき、当時の吉野ヶ里の様子を推定し復元を行っています。

したがって、本公園で建物は、現時点では当時のものに最も近い形で出来ていると考えていますが、この他にもいろいろな意見をお持ちの研究者がおられます。

今後の調査研究により、新たな発見や考え方（知見）があれば修正も必要と考えています。

This park covers the entire remains of Yoshinogari, a special historic site to preserve and restore the original buildings of the period (late Yayoi Period).

It was impossible to restore the buildings in a three-dimensional manner using only the excavation survey material. Thus the following materials were referred to and a committee of experts from the fields of archaeology, ancient architectonics, ethnical studies, and life history collaborated to make the best assessments concerning daily life in that period and now the restoration of ancient Yoshinogari is underway..

- ◎ Excavated materials from ruins all over Japan covering the periods of Jomon through Kofun
- ◎ Chinese documents and related materials
- ◎ Case studies of the folklore

The buildings being restored at this park are currently considered to be true to this period, however there are other researchers with varying opinions.

We believe adjustments to the restored sites may be necessary based on new discoveries (information) following further research and studies.

修正提案などを含めたものをまとめると、次の通りである。各段落の始めは、3文字分スペースを空ける。

In this park we have worked for the preservation and academic utilization of the *Yoshinogari-iseki* of the late *Yayoi-jidai* [-period], a special historic site, by covering the surfaces of the ruins with clay and restoring them.

It was impossible to restore the buildings in a three-dimensional manner using only the excavation survey materials. A committee of experts was summoned from the fields of archaeology, ancient architectonics, ethnical studies, and life history. They collaborated to make the best assessments concerning daily life in the period by referring to the following materials.

- ◎ Excavated materials from ruins all over Japan covering the two ancient periods, the *Joumon-jidai* and the *Kofun-jidai*

◎ Chinese documents and related materials

◎ Case studies of the folklore of those days

The buildings which are now being restored in this park, are currently considered to be true to the *Yayoi-jidai* as they existed. There may be some researchers with different opinions.

It is possible that adjustments to the restored sites may be necessary based on new discoveries following further research and study.

2. 2. 6 浜松城跡

浜松駅より車で10分の「浜松城公園」内に存在する。駐車場は広い。1577年に徳川家康が構築した城郭である。明治維新の際に取り壊され、1958年天守が復元された。尚、本丸と区別して天守曲輪（くるわ）という区画が存在すること、野面積み（のづらづみ）という古い石垣が、浜松城の特筆に値することであるが、それ以上に「出世城」と呼ばれた理由が興味深い。

画像25の復元天守内部は、他の城郭の復元天守内と同様、博物館になっている。徳川家康関係の豊富な資料が見られる。画像25の撮影場所の天守曲輪周辺では、最近設置されたと推測される、多くの、日本語説明と英語説明が記された案内板が見られる。横書きの日本語説明の漢字にはすべて振り仮名がつけられている。

包括的説明の案内板は、画像26の「浜松城跡」という表題の案内板である。浜松市作成のものである。縦書きの日本語案内板で、左に英語案内板が見られる。

25



26



26の日本語案内板は、原文は縦書きであるが、横書きで記す。振り仮名は（ ）で記す。

浜松城跡

浜松城は徳川家康が遠州攻略の拠点として築いた城で、元亀（げんき）元年（1570）六月に入城し、十七年間に在城した。東西六百メートル、南北六百五十メートルの規模で、南の東海道に大手門が開き、東から西へ三之丸、二之丸、本丸、天守台と連なり、順次高さを増す。ここは、天守曲輪（くるわ）の跡である。家康の後、城主は代々譜代（ふだい）の大名が勤め、在城中に老中（ろうじゅう）まで栄進した人が多い。中でも水野越前守忠邦（みずのえちぜんかみただくに）の名はよく知られている。石垣は、野づら積みと呼ばれる堅固な作りで、古い石垣の特徴をよく残しており、浜松市の史跡に指定されている。

浜松市

RUINS OF HAMAMATSU CASTLE

Hamamatsu Castle was built by Ieyasu Tokugawa as a stronghold for attacks on the Enshu Area. He entered the castle in June, 1570 (the 1st year of Genki) and stayed in it for 17 years. It was constructed on a scale extending in distance 600m from east to west and 650m from north to south. The front gate opened to the south on the Tokaido Route. Extending from east to west were the "SAN-NO-MARU" (outermost outworks), the "NI-NO-MARU" (intermediate outworks), "HON-MARU" (keep), and "TENSHU-DAI" (area for the donjon), each becoming higher in order in level.

All the castle lords were from "daimyo" in hereditary vassalage to the Tokugawas and many of them were promoted to the distinctive membership in the "ROJU" (Shogun's Council of Elders). As a result, this castle was called "the castle of success." Tadakuni "Echizen-no-kami"

福島 一人：観光英語(10)：神奈川県と静岡県の観光名所、箱根、静岡、浜松、伊豆などに見られる案内板の英語

Mizuno is the best known of all. The castle's stonework was of a sturdy build referred to as "NOZURA-ZUMI" typical of an old type of stonework, and is designated as one of the historic relics of Hamamatsu City.

日本語案内板中の「水野越前守忠邦（みずのえちぜんかみただくに）」の振り仮名は、「... えちぜんのかみ」とするべきである。

日本語案内板、英語案内板共に、完全に内容が一致する。日本語案内板は段落分けをしていない。英語案内板の本文は、「建設と郭（くるわ）の配置」→「歴代城主、野面積・史跡指定」と、2段落に分け記述している。1段落の情報が多く、さらに段落分けする必要があると感じる。

尚、英語案内板には日本語案内板に存在しない、「出世城」の記述が見られる。

以下、英語案内板について段落別に、検討を加える。

RUINS OF HAMAMATSU CASTLE

Hamamatsu Castle was built by Ieyasu Tokugawa as a stronghold for attacks on the Enshu Area. He entered the castle in June, 1570 (the 1st year of Genki) and stayed in it for 17 years. It was constructed on a scale extending in distance 600m from east to west and 650m from north to south. The front gate opened to the south on the Tokaido Route. Extending from east to west were the "SAN-NO-MARU" (outermost outworks), the "NI-NO-MARU" (intermediate outworks), "HON-MARU" (keep), and "TENSU-DAI" (area for the donjon), each becoming higher in order in level.

表題について、福島(2016.1)の「小田原市小田原城」での提案も含め、“*Hamamatsu-jou [-castle]-ato (the ruins of the Hamamatsu-jou)*” とすることを提案する。

浜松城が「出世城」と呼ばれた理由は興味深いことなので、副題として、“Why Was the *Hamamatsu-jou* Called “The Castle of Success”?” を加える。

日本語案内板では、「(家康の) 遠州攻略の拠点」という内容であるので、明確にし、“*The Hamamatsu-jou was built by Tokugawa Ieyasu as a stronghold to prepare for his attacks against the Enshuu area*” とする。昔の日本の地名、「遠州（えんしゅう）」をイタリック体で表記する。“June”を大文字で始め、“June” とする。「元亀元年」は日本人にさえ知名度は低いので削除する。具体的に「居を構える」という意味であるので、“inhabited” とする。この文を“*He entered the castle in June, 1570, and inhabited it for 17 years*” とする。「... に及ぶ土地の上に（建設された）」と具体的にし、“on land” とすることを提案する。日本語学習者のために、“*the Toukai-dou [-route]*” と表記する。福島(2015.1)における、城郭部位に関する表記上の提案に従う。普通名詞的な曲輪（くるわ）を並べているだけなので、それぞれを小文字で始める。「天守台」は、「天守」の礎石を表すので、ここでは「天守を含む「本丸」」とするべきであろう。“*the san-no-maru (third bailey), the ni-no-maru (second bailey), and the hon-maru (main bailey) including the tenshu (castle tower)*” とすることを提案する。

All the castle lords were from “daimyo” in hereditary vassalage to the Tokugawas and many of them were promoted to the distinctive membership in the “ROJU” (Shogun’s Council of Elders). As a result, this castle was called “the castle of success.” Tadakuni “Echizen-no-kami” Mizuno is the best known of all. The castle’s

stonework was of a sturdy build referred to as “NOZURA-ZUMI” typical of an old type of stonework, and is designated as one of the historic relics of Hamamatsu City.

「城主」を“the castle lords”としているが、「浜松城の（代々の）城主」と「浜松城」に限定されているので、それを明示し、“the lords of the castle”とする。「徳川の譜代」であるから、“vassalage of”とする。“All the lords of the castle were descended from the *daimyou* in hereditary vassalage of the Tokugawa clan”とすることを提案する。“the *Roujuu*”とする。日本名が「姓・名」であることは外国人にも現在知られているので、「水野越前上忠邦」の語順にし、“Mizuno Echizen-no-kami Tadakuni”とする。「越前上」は、日本人でさえ知る人は少ないので削除してもよいかも知れない。そして、「老中の中で一番知られているのは...」を補い、“The best known of all the elders was Mizuno Echizen-no-kami Tadakuni.”とする。現在の状態も表すので、“is”とする。「野づら積み」の表記は、福島(2015.7)、(2015.9)の提案に従い、「づ」を“dzu[du]”と表記し、「野づら積み」の説明も補い“*Nodzu[du]ra-dzu[du]mi* (the method of piling up natural stones)”とする。“The castle’s stonework is of a sturdy build and referred to as *Nodzu[du]ra-dzu[du]mi*, typical of this type of old stonework.”とすることを提案する。

「浜松市の史跡に指定されている」という記述は、“The *Hamamatsu-jou* is designated as one of the historic relics of Hamamatsu City.”と独立させ、段落を分ける。

本文を原文の2段落から、「城郭築城者と目的」→「城郭のウリ（郭の配置、石垣）」→「歴代城主・出世城と呼ばれる所以」→「史跡指定」の順に、4段落に分けることを提案する。

修正提案などを含めたものをまとめると、次の通りである。各段落の始めは、3文字分スペースを空ける。

Hamamatsu-jou [-castle]-*ato* (the ruins of *Hamamatsu-jou*)

— Why Was the *Hamamatsu-jou* Called “The Castle of Success”? —

The *Hamamatsu-jou* was built by Tokugawa Ieyasu as a stronghold to prepare for his attacks against the *Enshuu* area. He entered the castle in June, 1570, and inhabited it for 17 years.

It was constructed on land extending in distance 600m from east to west and 650m from north to south. The front gate opened to the south on the *Toukai-dou* [-route]. Extending from east to west were the *san-no-maru* (third bailey), the *ni-no-maru* (second bailey), and the *hon-maru* (main bailey) including the *tenshu* (castle tower), each becoming higher in order in level. The castle’s stonework is of a sturdy build and referred to as the *nodzu[du]ra-dzu[du]mi* (the method of piling up natural stones), typical of this type of old stonework.

All the lords of the castle were descended from the *daimyou* in hereditary vassalage of the Tokugawa clan and many of them were promoted to distinctive membership in the *Roujuu* (Shogun’s Council of Elders). As a result, this castle was called “the castle of success.” The best known of all the elders was Mizuno Echizen-no-kami Tadakuni.

The *Hamamatsu-jou* is designated as one of the historic relics of Hamamatsu City.

2. 2. 7 観山寺ロープウェー

浜松駅から館山寺温泉方面行きバスで45分ほどで、浜名湖パルパル園に隣接している。遊園地に来た親子連れをロープウェーにも乗せるように以下の案内板を乗降口（27の建築物）の目立ったところに設置することを提案する。

ロープウェーの持つ「誇るに足ること」を副題としても記述する。英語説明では、とりわけ外国人観光客に関心を持たせるような文面にする。案内板には28のような画像を添付する。

より興味を引くように、一般的な定冠詞を使用した“The aerial tramway”⁶⁾ではなく、人称代名詞を使用した“Your aerial tramway”で始める。

27



観山寺ロープウェー

このロープウェーは浜名湖を眼下に臨み大草山山頂の展望台までを往復します。展望台からは浜名湖を中心とした360度のパノラマを楽しめます。

Kanzan-ji [-temple] Ropeway

ENJOY THE PANORAMIC VIEW OF HAMANA-KO [-LAKE]!!

Your aerial tramway goes to and from the observatory on the top of *Ookusa-yama*, viewing *Hamana-ko* under your eyes. On the observatory you will be delighted by the 360-degree panoramic view centered around *Hamana-ko*.

28



尚、終点である展望台の建造物内の29では、「大草山」を“*Ohkusaya*”、屋外の展望台にある30では“*Ookusayama*”と表記している。“*Ookusayama*”と統一するべきであろう。

29



30



3. おわりに

本稿は事例報告として、神奈川県箱根と静岡県の観光名所に見られる包括的説明を行う英語案内板を中心に、検討を加えた。

記述が細かく段落分けされていない例、一つの文が長いと感じられるものがやはり見られた。これは、リーフレットなどとは異なり限られた記述スペースに、多くの情報を詰め込みたい、という観光地の、ある意味で親切心に起因すると推測できる。このような案内板は概して、日本語のものに多いのだが、英語のものにも見られる。また、内容が専門的過ぎる例も見られる。本稿で挙げた案内板にも、それらに該当するものが見られた。しかし、このような案内板は、一般観光客、特

に、ツアー客などには、読むのに抵抗を感じさせ、その結果、当該観光地の特筆に値する事項（「ウリ」）を見落とさせる可能性が多い。つまり、案内板設置の意義を減ずるものである。情報が多い場合、現地のリーフレットなどに委ねるべきと考える。本稿でも、可能な限り段落分けをした。「ウリ」などの貴重な情報は、段落を独立させるだけでなく、さらに、副題とすることを提案した。通例、第一段落には「創建年代、創建者」を記述すべきところ、すでに、福島（2015.7）の3.4.1「建長寺」では、敢えて「ウリ」を第一段落にすることを提案している。さらに、本稿では、「三保松原」、「葦山反射炉」、「登呂遺跡」、「浜松城跡」、「観山寺ロープウェー」では、「ウリ」を副題にすることを提案した。

リーフレットなどとは異なり、記述スペースが限られている包括的説明を行う案内板に、どのような情報を、どの程度、どのような順序で、どれくらいの分量で記述すべきか、また、「ウリ」を第一段落もしくはそれに近い段落、さらに、副題として記述することも含め、今後検討を加えたい。

福島（2015.9）p.34では、「地名・人名」などを表す固有名詞構造はローマン体、それ以外の事物を表すものや普通名詞構造はイタリック体で示す」と提案している。本稿では、さらに、昔の日本の地名、また、「地名」とも思える、“*Ashino-ko*”、“*Fuji-san*”の如く、普通名詞が構成素であり、前後が、他のものと交換可能である場合、イタリック体にすることを提案している。古い日本の年号、例えば、「江戸時代」を“*Edo-jidai*”とすることも提案している。

また、「三保松原」の案内板を例に挙げ、文字の色彩について言及した。

本論文執筆にあたり、長岡技術科学大学名誉教授村山康雄氏に資料提供や助言をいただいた。また、箱根の案内板、「大涌谷自然研究路」の撮影は、文教大学情報学部講師バンクス祥恵氏に協力をいただいた。これまでと同様、提案した英語のネイティブチェックはDavid Martin氏にお願いした。

感謝したい。

註

- 1) 格調が高いことより、一般人が理解しやすいことに重点を置き、綴字法などの規則性は一般文書ほど強くない。また、設置位置、色彩など、「視覚的認識の容易さ」も含まれる。「量的」とは、適量な情報量のことであり、過度のものは一般観光客から敬遠される。
- 2) 意味に基づく分節は、日本語学習者の便宜を考慮している。福島（2015.7）、（2015.9）参照。
- 3) 福島（2015.9）において述べたが、英語圏の人々は“oo”を[u:]と発音する可能性が高い。今後、旅行会社、航空会社などのパンフレットなどに、日本語の英文字表記では「オオ」と発音される、と記す必要がある。
- 4) 現地の駐車場には、9と同じ構図で撮影した画像が案内板として設置されている。干潮の時、波打ち際から撮影したものであろう。好条件でないこの風景を鑑賞出来ないので、画像を添付するべきと思われる。
- 5) 2015年12月現在、観光客は欧米人より、韓国人、中国人観光客の方が多い、と現地のスタッフは言う。

福島 一人：観光英語(10)：神奈川県と静岡県の観光名所、箱根、静岡、浜松、伊豆などに見られる案内板の英語

- 6) “ropeway” は、「資材等運搬用」、「乗客運搬用」と意味が広い。福島(2014.7)で提案したように、「乗客運搬用」を明示し、“aerial tramway” とすることを提案する。

参考文献

- あくざわさきこ(2000)『ふるさと再発見 神奈川県』第2版、東京：ゼンリン
- 文理編集部(2015)『小学3年国語ローマ字』、東京：文理
- ブリタニカ・ジャパン編(2013)『ブリタニカ国際大百科事典』小項目電子辞書版 東京：ブリタニカ・ジャパン
- Costello R. B., edit. (1991) *Random House Webster's College Dictionary*, Random House, Inc., New York.
- 福島一人(2008.3)「形容詞 'big' 'little' と 'large' 'small' の語法：The Color Purple と Forrest Gump の用例を中心に」『言語と文化』創立20周年記念号、越谷：文教大学大学院言語文化研究所
- (2011.1)「観光英語(1)：国宝天守をもつ松本城の案内板の英語」『情報研究』第44号、茅ヶ崎：文教大学情報学部
- (2011.7)「観光英語(2)：国宝天守をもつ、松本城案内板の英語と比較した姫路城、彦根城、犬山城の案内板の英語」『情報研究』第45号、茅ヶ崎：文教大学情報学部
- (2012.7)「観光英語(3)：重要文化財の天守を有する備中松山城、丸亀城、高知城、弘前城の案内板の英語」『情報研究』第47号、茅ヶ崎：文教大学情報学部
- (2013.1)「観光英語(4)：重要文化財の天守を有する丸岡城の案内板の英語」『情報研究』第48号、茅ヶ崎：文教大学情報学部
- (2014.1)「観光英語(5)：重要文化財の天守を有する宇和島城、伊予松山城、松江城の案内板の英語」『情報研究』第50号、茅ヶ崎：文教大学情報学部
- (2014.7)「観光英語(6)：世界遺産に登録されている広島県宮島の案内板の英語」『情報研究』第51号、茅ヶ崎：文教大学情報学部
- (2015.1)「観光英語(7)：日本の城郭などに見られる英語案内板の表記内容再検討と綴字についての提案」『情報研究』第52号、茅ヶ崎：文教大学情報学部
- (2015.7)「観光英語(8)：神奈川県の名所鎌倉に見られる案内板の英語」『情報研究』第53号、茅ヶ崎：文教大学情報学部
- (2015.9)「案内板における日本の固有名詞などの英文字表記」『日本実用英語学会論叢』第21号、東京：日本実用英語学会
- (2016.1)「観光英語(9)：神奈川県の観光名所、三溪園、江の島などに見られる案内板の英語」『情報研究』第54号、茅ヶ崎：文教大学
- Hearn, Lafcadio (1932) *Kwaidan*, 東京：審美書院
- ヘボン J. C. 松村明解説(1974)『和英語林集成』第3版(復刻版)、東京：講談社
- 日立ソリューションズ・ビジネス(2013)『マイペディア百科事典』電子辞書版、東京：日立ソリューションズ・ビジネス
- 上森鉄也(2012)「基礎演習でのローマ字教育」『流通科学大学教養センター紀要』第2号、神戸：流通科学大学商学部
- 国土交通省 観光庁(2014.3)「観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン」(オンライン)、入手先 (<http://www.mlit.go.jp/common/001029742.pdf>) (2016.3.3 参照)

文部科学省 「ローマ字のつづり方」(オンライン)、入手先 (http://www.mext.go.jp/b_hakusho/nc/k19541209001/k19541209001.html) (2014.10.15 参照)

NAVER まとめ 「正しく知っておきたい「ヘボン式ローマ字」の基礎知識」(オンライン)、入手先 (<http://matome.naver.jp/odai/2138576450486274401>) (2014.10.15 参照)

新村出編 (2008) 『広辞苑』 第6版、東京：岩波書店

スクリーチ・タイモン、プライス・マーガレット、大島 明他編 (1999) 『トレンド英語日本図解辞典』、東京：小学館

柴田正昭 (2010) 『外国人のためのローマ字日本語辞典』 第三版、東京：東京堂

篠田義明 (1989) 『アメリカ英語最新ビジュアル辞典』 東京：研究社

小学教育研究会 (2015) 『国語自由自在』、大阪市：受験研究社

梅棹忠夫 (2004) 『日本語の将来：ローマ字表記で国際化を』、東京：日本放送出版協会

渡邊敏郎他編 (2003) 『新和英大辞典』 第5版、東京：研究社

Wikipedia, the free encyclopedia. “Kamakura, Kanagawa”, “Hakone, Kanagawa” Retrieved April 4, 2015, from <http://en.wikipedia.org/wiki/Itsukushima>

URL

「観光英語 (1)」『情報研究』 44号
<http://sucra.saitama-u.ac.jp/modules/xoonips/detail.php?id=BKSJ440004>

「観光英語 (2)」『情報研究』 45号
<http://sucra.saitama-u.ac.jp/modules/xoonips/detail.php?id=BKSJ450003>

「観光英語 (3)」『情報研究』 47号
<http://sucra.saitama-u.ac.jp/modules/xoonips/detail.php?id=BKSJ470003>

「観光英語 (4)」『情報研究』 48号
<http://sucra.saitama-u.ac.jp/modules/xoonips/detail.php?id=BKSJ480005>

「観光英語 (5)」『情報研究』 50号
<http://sucra.saitama-u.ac.jp/modules/xoonips/detail.php?id=BKSJ500004>

「観光英語 (6)」『情報研究』 51号
<http://sucra.saitama-u.ac.jp/modules/xoonips/detail.php?id=BKSJ510002>

「観光英語 (7)」『情報研究』 52号
<http://sucra.saitama-u.ac.jp/modules/xoonips/detail.php?id=BKSJ520005>

「観光英語 (8)」『情報研究』 53号
<http://sucra.saitama-u.ac.jp/modules/xoonips/detail.php?id=BKSJ530003>

「観光英語 (9)」『情報研究』 54号
<http://sucra.saitama-u.ac.jp/modules/xoonips/detail.php?id=BKSJ540004>